



2017年4月、紀尾井ホール室内管弦楽団
首席指揮者に就任したライナー・ホーネック。
インタビューや密着取材を通して
その人となりになります。



ウィーン・フィル

楽員生活は末席から

取材・文 岡本和子

今では誰もが知るウィーン・フィル
ハーモニー管弦楽団の「顔」として活躍
するホーネックだが、最初からコンサ
ーマスター(以下、「コンマス」と表記し
ます)だったわけではない。
「1年間の試用期間を経て1981
年※にトウツティ奏者として入団した後
しばらくいちばん後ろの席で弾いてい
ました。翌年、再度オーディションを受
けて2年間次席奏者を務めて、83年に
またオーディションを経てコンマスに
就任しました」
ウィーン・フィルハーモニー協会の規
約には、国立歌劇場管弦楽団のオー
ディションに合格し、1年間の試用期間
を経て正団員となり、最低3年間歌劇
場の団員として力を実証して初めて
ウィーン・フィルの正団員になること
ができると記されている。国立歌劇場
管弦楽団の団員は公務員であり、自主
運営のウィーン・フィル(協会)はいわば

「公務員の課外活動」。現在はすべての
奏者が入会するが、かつては歌劇場の
楽員だけにとどまる者もいたらしい。
「実は私が83年に就任したのは、国立
歌劇場管弦楽団のコンマスで、ウィーン
・フィルではありません。現在は歌劇場も
ウィーン・フィルも、同じ4人のコンマス
体制ですが、あの頃は5人いて、5番目
のコンマスは歌劇場のバレエ公演だけ
を担当して他の公演では次席で弾いて
いました。このポジションは94年ごろに
廃止されました。64年にカラヤンが
ウィーン国立歌劇場の音楽監督に就任
したとき、オーケストラの人員を大幅に
増やしたようで、そのときに第5コンマ
スのポストが増設されたようです。当
時はヴェルディやプッチーニといった「重
量級」の作品が連日取り上げられてい
て、最前列にコンマスが2人いることを
要求する指揮者も多かった。だから5人
目のコンマスが必要だったのです」
一言でコンマスといってもいろいろな
タイプがある。最初からコンマスとし
て入団して最前列で弾く奏者もいるが
徐々に前の席に進んでいくほうが性分
に合っています。だから第5コンマスと
して、試行錯誤しながら全体をリード



していくコツを徐々に体得できたのは
ありがたいことでした」
連日異なる演目上演されるウィ
ーン国立歌劇場では通常、レパートリー
公演のリハーサルは行われない。すべ
てがぶつけ本番だ。そのため、オペラ
経験の少ない新人奏者はまず一通りの
演目を経験することが必須となる。オ
ペラは長いので、本番中の小さな事故
は日常茶飯事。最初は「とにかく最後ま
で弾ききることで精一杯」のようだ。
「初めて弾いたオペラは『椿姫』だった
からまだ何とか最後まで弾けました
が、その次に弾いた『トスカ』は……酷
かった(笑)。始まったら音楽がどんどん
先に進んでしまい、脳内が真っ白になっ
て撃沈(笑)。オペラは大変です。だから
最初の頃は末席で目立たないように大
人しくして、訳が分からなくなる
と、弾いているふりをしてその場をし
のいでいました(笑)」

1 キュッヒル、ホーネック、シュトイデ、ダナイローヴァの4人体制だった2015年9月のコンマス・ローテーション表(ウィーン国立歌劇場、コンサートマスター控え室にて)
2 ウィーン・フィルに81年に入団してから、夏は毎年ザルツブルク。「初めての音楽祭で、巨匠カール・ベームの最後の指揮で演奏しました。」(写真は今夏のザルツブルク音楽祭にて)
※トウツティ奏者…肩書きをもたない一般団員。

5回の定期演奏会を、同一曜日・同一座席・お得な料金で!



紀尾井ホール
室内管弦楽団
Kioi Hall Chamber Orchestra Tokyo
新日鉄住金文化財団

紀尾井ホール室内管弦楽団 2018年度 定期会員 11/18(土) 新規募集開始

2018年度定期演奏会は、クーブラン、パッサカリア、ヴォーン=ウィリアムズや武満まで、色彩豊かな響き美しい作品の数々を取り上げます。首席指揮者のライナー・ホーネックはじめ、パオロ・カリニャーニ、アレクセイ・ヴォロディン、今井信子、マリオ・ブルネロらの優れたアーティストたちとともに、極上の室内オーケストラの響きをお楽しみください。

あなただけの特等席

全公演とも同一の曜日に同一の
お座席でご鑑賞いただけます。

おトクな会員割引価格

1公演券を購入する場合に比べ、
どの券種でも約2割引になります。

定期会員限定イベント

楽団メンバーとの交歓会や、
リハーサル見学にご参加いただけます。

演奏会の詳しい内容は、パン
フレット、紀尾井だより125号、
または紀尾井ホールホーム
ページをご覧ください。